

# 令和6年度 学校評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校名	加古川市立八幡小学校
-----	------------

**1 学校教育目標** たくましく心豊かで すすんで学びあう八幡っ子の育成

**2 学校基本方針**

- ・人を思いやる心、ともに生きる心の育成
- ・自ら学ぶ力の育成
- ・健康・体力づくりの推進

**3 志向する学校運営**

- ①児童にとって、学校は「未来を生きる礎を学ぶ場」であること
- ②保護者にとって、学校は「安全・安心な信頼できる場」であること
- ③教職員にとって、学校は「働きがいがあり協働の気風のある場」であること
- ④地域にとって、学校は「まちづくりの拠点となる場」であること

**評価基準**

A:できている                      B:だいたいできている                      C:あまりできていない                      D:できていない                      E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
互いに認め合い、個性や特性を受け入れる心を育てる人権教育の推進	どの子も認められる居心地のよい学級集団づくりに努めるとともに、全校的な縦わり班活動や感謝集会などの児童会活動を活性化させる。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の授業や生活を大切にし、児童の実態に即した指導を心がける。</li> <li>・縦割り班活動による異学年交流を通して、多様性を認め合える、居心地のよい集団づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り班活動が、上手に子どもたちを動かすなど感じている。なのはなとかひまわりの子どもたちに対し、一緒に連れて授業にいくなど、子ども同士のつながりが強いと感じる。</li> <li>・縦割り班活動で、違う学年でもお互いのことをよく把握し合っており、大きい子が小さい子のお世話をする姿から、しっかりと連携が取れていると思う。</li> <li>・人の個性に対して、あの違うことはおかしいというのではなく、その違いを、当たり前として理解をして、その人を認めることが重要だと思う。</li> <li>・縦割り班活動で、少子化で兄弟姉妹のように違う学年の子に触れあえるのはすごくよいことだと思う。今後も継続してほしい。</li> </ul>	A
自ら学ぼうとする意欲を育てる学習指導の充実	導入やめあてを明確にするなどの工夫により、児童のやる気を引き出すとともに、わかりやすい授業づくりに努める。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が興味のあることや好きなことに進んで取り組めるような課題設定や授業づくりをさらに進める。</li> <li>・教員としての資質向上を図る時間を確保するために、業務(事務負担等)の軽減を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協同的探究学習で、地域の学習を深めたり、職業人と語ろうでは、子どもの意欲を大切にしたい取組が素晴らしく、今後の取組が楽しみである。</li> <li>・先生が子どもたちの興味をもたせる取組が素晴らしい。学習指導においてもさまざまな情報をうまく取り入れて取り組まれていることがよく感じられる。</li> <li>・パソコンの授業でも、1人で取り組むだけでなく、となりの子と教え合いながら学習している様子がうかがえた。パソコンをつかっていても、人と関わるのが楽しいと感じる我が子に安心感を覚えた。</li> <li>・八幡小学校は、小規模校で子どもの数も少ないので、電車を利用するなど本物の経験を味わえる機会を大切にしてほしい。</li> </ul>	A
自らの目標に向かう、年間を通した体力づくりの推進	児童一人一人に目標を持たせるとともに、年間を通した体力づくりに努める。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、体力向上の取組を継続する。業間休みや昼休み時間にも、進んで運動に取り組めるように工夫する。</li> <li>・「自分の身は自分で守る」ことができるよう、児童には日々のあらゆる場面において危険の予測を促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔に比べて、今の子は体力が落ちてると感じる。</li> <li>・八幡小の校区は町の方に比べて本当に広く、登下校だけで結構な体力を身に付けられると思う。夏の暑い日、冬の寒い日に歩いて登校している姿を見ると、子どもたちは強いと思う。</li> <li>・学校長の「やはたっ子ぶろぐ」を見ると、学校で子どもたちが元気に遊ぶ様子が紹介されている(雪の時に遊んでいる姿、一輪車で元気に走り回っている姿、など)。</li> <li>・我が子が八幡小学校に在籍時、冬場はマラソン大会があり、業間には運動場を何周も走って体力の増進を図っていた。今は、いろいろな制約で当時と同じようにいかないとは思いますが、その中で工夫しながら体力の増進を図る取組をお願いしたい。</li> </ul>	A